

4年2組 特別の教科 道徳

1 主題名 生命のそんげん 内容項目:D 生命の尊さ

2 教材名・教材について 「かわいそうなぞう」

本教材では、戦争のためとはいえ、必死に生きようとする象に対して、無情にも命を奪わなければならぬ時代背景を押さえながら、動物も人間と同じ生命体であるとの認識を深め、生命を大切にしなければならないことを考えさせたい。

3 ねらい

3頭の象の生きようとするけなげな姿を見ながらも救うことができなかった飼育員の思いを通して、生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。

4 本時の流れ

授業の流れ	
導入	1 戦争時の状況について知る。
展開前段	2 教材「かわいそうなぞう」を読み、命の尊さとかけがえのなさについて考える。 (1) 力がなくなってきてている中、懸命に芸を見せる象の姿を見た係の人の気持ちについて、考えたことを伝え合う。 (2) 象が死んだときの係の人たちの気持ちについて、伝え合う。 (3) 命を落としていった動物の思いを考えることを通して、命の尊さに考える。 なぜ、僕たちが死ななければいけなかったのだろうか。 もっと食べ物を食べたかった。 戦争はひどい。
展開後段	3 命について考えを深める。 (1) 命を大切にするということは、どういうことなのか考え、伝え合う。 どんな生き物でも生きる権利はある。 人間が勝手に命を終わりにさせてはいけない。
まとめ	4 命についての教師の説話を聞く。

◆見どころ◆

4年生の段階においては、死について現実的に理解できるようになります。しかし、むやみに動物や植物を傷つけたり、生命を奪ったりしていることが多いです。それは、児童の生命に対する意識が低いからだと考えます。日常生活のあらゆる場面において、生命を大切にする心情について十分意識できるように指導していきます。